

Azabu AAI Educational Program

(履修証明プログラム・麻布大学動物介在介入教育プログラム)

「動物介在療法・活動・教育に関する継続的教育プログラム」

受講対象

教育、医療、福祉、獣医分野の専門家および大学院相当学生

- 教師、養護学校教師、精神科医、理学療法士、作業療法士、言語療法士、臨床心理士、看護師、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、獣医師、動物看護師として、あるいは社会福祉や公共医療サービス施設で働く者
- 上記分野を学ぶ大学院相当の学生

プログラムの概要

動物介在療法/活動/教育(AAT/AAA/AAE)、総称して動物介在介入(AAI; Animal-assisted intervention)、に関する継続的教育プログラム:Azabu AAI Educational Program は、教育、医療、福祉、獣医分野における経験と専門性をもった人たちが、AAI を実施するために必要な知識と技術を身につけるために開発されたもので、麻布大学では平成 14 年 4 月から大学院修士課程の学生を対象に実施してきました。7 年間にわたる実績をもとに、わが国の現状に合わせてほぼ完全なプログラムとなりました。この内容は、International Society for Animal-Assisted Therapy (ISAAT)の国際基準に完全に合致しています。

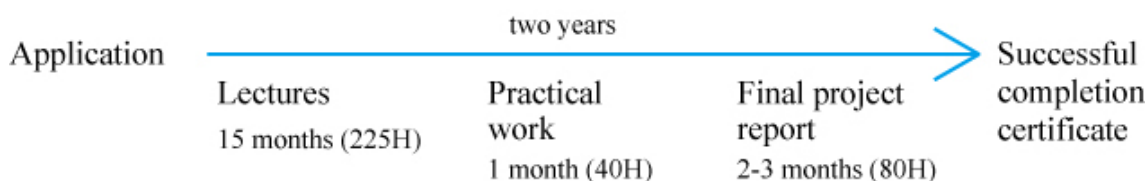
カリキュラムは、Dennis C. Turner(デニス・ターナー)博士が 1999 年に開発したプログラムを日本の実情に合わせ改編したもので、AAI を実践するために必要な知識(講義)とさまざまな技術(実習)を身につけ、さらに応用力(ファイナルレポート)を養います。2 年間の本プログラムを修了した受講生には、AAI 専門家としての認定証が授与されます。この認定証は我が国のみならず、国際的にも通用するものです。

本コース内容

- プログラムは 2 年で修了し、そのうち 15 ヶ月間講義(225 時間)を行います(一部集中講義となる場合があります)。約 1 ヶ月間は AAI を提供、あるいは関連する施設で実習(40 時間)を行い、加えて、2~3 ヶ月間は論文(ファイナルレポート)の作成(80 時間)を行います。一部の

講義・実習は英語で行います。

- **講義**・・・225 時間の講義の中には、講義のほか、セミナー、案内された討論会・公開講座への参加、宿題、講義ノートの整理、ファイナルレポートの指導が含まれます。尚、都合により講義(ヒトと動物の関係に関する教育研究センターの主催する講座等を含む)に出席できなかった場合、次回の講義までに自習することを条件に録画したものを貸出します(iPod touch を使用します)。
- **実習**・・・麻布大学内あるいは提携施設において 40 時間の実習(実践的な活動、インターンシップ)を行います。刑務所、少年院、麻薬常習などさまざまな問題や障害を持つ子どもたちに対する AAI に関する実習(選択)は、アメリカ合衆国内の施設で実施します。この場合の費用は個人負担になりますので、希望する者は入学時から積立を行います。
- **ファイナルレポート**・・・デニス・ターナー、太田光明、および岩橋和彦の指導のもと、AAI に関するテーマを決定し、英文にてレポートをまとめます。教育、福祉、医療、介在動物に関する専門的知識とともに 2 年間の継続的教育プログラムの講義と実習で得た知識をまとめます。
- **認定**・・・認定証は、ファイナルレポートを提出したのち、デニス・ターナー(英語)らによる口頭試問をもって最終評価を行い、合格した者に交付されます。



定員及び受講条件

本コースの定員は 20 人です。

受講生の必要条件是、高等学校か同等の学校を卒業しており、加えて、教育、医療、福祉、獣医学(応用動物学を含む)の分野において専門的トレーニングを修了している必要があります(履歴書によって確認)。尚、英語の理解ができることも条件になりますが、試験等はありません。

実施場所

- ① 講義・・・麻布大学(神奈川県相模原市淵野辺 1-17-71)において実施します。
- ② 実習・・・富士見小学校、光が丘小学校、相模原市老人養護施設、相模原市障害者施設、動物愛護センター、動物保護センター(ワシントン州)、マクラレン少年院(オレゴン州)、ワシントン州立女性刑務所、よこはま動物園ズーラシア、グリーンチムニーズ(ニューヨーク州)、下田海中水族館 他

プログラムコース責任者と構成メンバー(講師)

責任者は、デニス・ターナー(IEAP 所長, 麻布大学客員教授, スイス)、太田光明(麻布大学獣医学部教授)であり、本プログラムの学際的な講義は以下のメンバーで行います。

- Dennis C. Turner IEAP 所長, 麻布大学客員教授, Switzerland
- James A. Serpell Professor, Dept. of Clinical Studies, Faculty of Veterinary Medicine; Director, Center for the Interaction of Animals & Society, University of Pennsylvania, USA
- Lynette A. Hart Professor, Dept. of Population Health & Reproduction; Director, UC Center for Animal Alternatives, University of California, USA
- Benjamin L. Hart Emeritus, University of California, USA
- Ann R. Howie Human Animal Solutions, USA
- Gail F. Melson Professor, Dept. of Child Development and Family Studies, Purdue University, USA
- Cindy C. Wilson Professor, Dept. of Family Medicine, Uniformed Services University of the Health Science, USA
- Erhard Olbrich Emeritus, University of Erlangen-Nuernberg, Germany
- 太田光明 麻布大学獣医学部 教授
- 岩橋和彦 麻布大学環境保健学部 教授
- 大谷伸代 麻布大学獣医学部 講師
- 安藤孝敏 横浜国立大学教育人間科学部 教授
- 植村興 麻布大学 客員教授
- 西村昌数 麻布大学 客員教授

他

カリキュラム

必須科目の講義(225時間)、実習(40時間)、ファイナルレポートの作成(80時間)を行います。

講義内容

- 人と動物の関係学 (108 時間)
- 心理学 (30 時間)
- 行動学 (28 時間)
- 動物心理学 (12 時間)
- AAI に用いる動物と人の衛生学 (7 時間)
- AAI に用いる動物の倫理と適切なケア (14 時間)

● AAI の評価方法 (26 時間)

(講義タイトルは変更することがあります)

○人と動物の関係学 (108 時間)		時間数
人と動物の関係概論	Dennis Turner	3
人と犬猫の関係～家畜化の歴史、現代の関係との比較	Dennis Turner	4
動物との愛着、社会的サポートの概念、ペットロス	Dennis Turner	4
動物種別にみた AAT の効果	Dennis Turner	4
動物がもたらす人への効果	Dennis Turner	4
産業動物や野生動物を用いたセラピー効果	Dennis Turner	4
人と馬の関係	太田光明	3
日本における AAT/AAA の実状と諸外国の動向	太田光明	3
日本人と犬の関係	太田光明	3
人と犬の関係—オオカミからイヌへ	James Serpell	6
動物介在療法総論～アニマルセラピーとその効果	Lynette Hart	4
高齢者と動物の関係	Erhard Olbrich	6
社会生物学、経済心理、統計心理、社会と心身の相関性について理論的アプローチ	Erhard Olbrich	6
高齢化社会における動物の役割・高齢者を対象とした AAT/AAA の効果と重要性	安藤孝敏	6
子供に対する動物園での動物介在活動	Gail Melson	6
AAI における患者と施設の評価	Ann Howie	4
刑務所における動物介入プログラムに関するニーズと問題点	Ann Howie	8
更生活動における動物の導入	植村興	7
サービスドッグとのかかわり～介助犬の歴史、適正及び育成・普及体制について	山本真理子	7
療法的乗馬	要香澄	8
動物介在教育:学校教育に動物を導入することの有用性	伊澤都	8
○心理学 (30 時間)		
心理学概論	安藤孝敏	6
精神障害の分類と診断	岩橋和彦	8
老年心理学～心理学を基盤とした老人と動物の関係	安藤孝敏	6
児童心理学～発達心理からみた子どもと動物の関係	Gail Melson	6
広汎性発達障害への AAT/AAA の応用	椛島大輔	4

○行動学 (28 時間)

動物行動学とは	Benjamin Hart	4
犬とはどんな動物か?	James Serpell	6
犬種の違いによる行動特性(パーソナリティと行動を理解する)	Benjamin Hart	6
産業動物、野生動物の行動学	Lynette Hart	6
犬猫の行動学的特徴とその比較	Dennis Turner	6

○動物心理学 (12 時間)

学習理論	鹿野正顕	6
学習理論応用:動物トレーニングの方法	鹿野正顕	6

○AAI に用いる動物と人の衛生学 (7 時間)

AAI に用いる動物の人獣共通感染症	大谷伸代	7
--------------------	------	---

○AAI に用いる動物の倫理と適切なケア(動物福祉と動物管理)(14 時間)

動物倫理概論	太田光明	6
セッションにおける動物の選別、ストレスを考慮した各動物種に必要な適正飼育方法	大谷伸代	8

○AAI の評価方法 (26 時間)

人と動物の関係における調査計画と方法	Cindy Wilson	6
AAI における評価について～統計解析と注意点、実際例	Cindy Wilson	6
統計学	西村昌数	4
対象者の症状に合致したプログラム作成と留意点	Dennis Turner	3
AAI の企画立案と運営(ディスカッショントレーニング)	Dennis Turner	7

実習

AAT/AAA/AAE を実施している現場で、少なくとも 40 時間の実習(実践的な活動、インターンシップ)を行い、レポートを提出します。実習場所として以下の場所があります。

- ✓ 犬・猫による介在介入に関する実習・・・麻布大学、動物保護センター(ワシントン州)、マクラール少年院(オレゴン州)、ワシントン州立女性刑務所 他
- ✓ 馬による介在介入に関する実習(障害者乗馬を含む)・・・麻布大学、よこはま動物園ズーラシア、グリーンチムニーズ(ニューヨーク州)、動物とのふれあいによる社会化促進施設(ドイツ) 他

- ✓ 産業動物等による介在介入に関する実習・・・よこはま動物園ズーラシア、グリーンチムニーズ（ニューヨーク州） 他
- ✓ イルカによる介在介入に関する実習・・・下田海中水族館 他

※施設の見学会や視察

ファイナルレポート(論文)

デニス・ターナー、太田光明、および岩橋和彦の指導のもと、AAI に関する題目を決定し、英文にてレポートをまとめます。教育、福祉、医療に関する専門的知識とともに 2 年間の継続的教育プログラム講義と実習で得た知識をまとめます。

<過去のファイナルレポートの例>

1. The influence of the experience of dog-ownership in the past on the present mental health of elderly men
2. An AAA/AAT program including evaluation for children suffering from developmental disorders and their families
3. Effects of the interaction with dolphins on physical and mental conditions of the elderly
4. Research on the most suitable breed of dog for animal assisted therapy of children

中間と最終試験

コース 1 年目の最後に、中間試験を実施します。これは、講義の内容(講義ノートを集約)から出題されます。

最終試験は、英語による口頭試問で、ファイナルレポートにおける方法と結果を要約し、質疑応答を行います。ファイナルレポートを提出したのち、最終試験に合格した者には、プログラムの修了証が授与されます。

受講条件

教師、養護学校教師、精神科医、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語療法士、看護師、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、獣医師などの専門家、また、社会諸機関や公共医療サービス機関で働く人などが対象となります。さらに、教育、医療、福祉、獣医学を学んでいる大学院相当の学生も対象となります。これらの専門分野に従事し、産業動物、コンパニオンアニマルなどを現場で用いることに興味がある人たちが対象となります。

また、専門的知識(学位)を持たないが、すでに動物介在介入の専門家として社会諸機関で働いている、あるいは、将来働く予定のある意欲的な人も対象となります。これに該当する者は、受講

する動機について委員会において審査されますが、教育、福祉などの施設において専門的活動の経験に関する証明(履歴書)があれば承認することができます。(コース受講生の10%)

一般的情報

受講に関する委員会とデニス・ターナー(IEAP 所長)、太田光明(麻布大学教授)が受講申込みを承認し、書類の管理に責任をもちます。申込書の受理は、書面で承認します。受講の決定と通知は、プログラム開始の5週間前までに行います。

承認された受講生には、プログラム開始日やカリキュラムなどを送ります。書類に署名し、事務局に返送したのち、プログラム受講が適用されますので、支払いスケジュールに沿って、費用の支払いを行ってください。プログラムの受講をキャンセルする場合、損失の補償は受講生の責任となります。

受講申込みを辞退する場合、プログラム開始の3週間前から、総費用の10%の手数料がかかります。その日以降は、支払いスケジュールによって総費用を支払わなければなりません。

プログラム内での活動について、個人の保険、旅費は参加者が負担します。

プログラムコースに必要なあらゆるドキュメント(ノートの原稿、ハンドアウト)は費用に含まれています。これらは、©マークのついた著作権で保護されており、IEAP や当センターの許可なくコピー印刷や公表することはできません。

案内された見学会やインターンシップ視察(そのうちいくつかはコースプログラムとの組み合わせ)を例外として、プログラムコースは通常、麻布大学の施設で行います。

プログラムコース費用(1コース2年間)

一般料金・・・¥300,000

学生料金・・・¥250,000 (現在大学院等に在学中の学生は、割引料金が適用されます)

※奨学金制度があります

最終認定

ファイナルレポートは、プログラムコースを開始してから2年間のうちに提出しなければなりません。委員会からファイナルレポートの高い評価を得て、最終口頭試問に合格した受講生には、IEAP および、麻布大学から発行される認定証(Certificate of completion)が授与されます。この認定証は、動物介在療法、活動、教育(動物介在介入)における専門のトレーニングを修了し、専門職

において専門的に動物を用いることができることを認めるものです。

※修了延期に関する措置・・・認定に必要な科目、実習単位を取得したが、ファイナルレポートの提出が遅れる場合、1年間修了の延期をすることができます。委員会に対して、今後1年以内にファイナルレポートを提出し修了することを認めてもらう必要があります。

Certificate of completion の例



プログラムの日程

1コースは2年間で、講義は通常、1ヶ月1回の週末(金曜日 18:30～21:30、土曜日 9:00～16:00、日曜日 9:00～16:00)に行います。一部集中講義となる場合があります。

年間スケジュール(別紙)